

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解

科目コード：130018

疾病・障害論Ⅴ（小児） Disease and Disorders V (Pediatrics)

担当教員					
実務経験	現役医師が講師となり、実務経験を講義に活かした実践的教育を行っている。				
開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords					
学習目的・目標	1. 先天性、遺伝性疾患をはじめ成長途上にある小児の疾患について、基礎的臨床医学知識を習得する。 2. 内科的疾患のみならず、外科あるいは関連各科も含め小児特有の疾患を理解する。 3. 小児科は臓器別診療科ではなく、小児をトータルで診る総合診療科であることを理解する。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	新生児、遺伝性疾患、染色体異常、代謝疾患、内分泌疾患				
2	感染症、アレルギー疾患				
3	免疫疾患、膠原病および類縁疾患				
4	呼吸器疾患				
5	循環器疾患				
6	消化器疾患、腎泌尿・生殖器疾患				
7	血液疾患、悪性腫瘍				
8	神経・筋疾患、精神疾患				
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論（医学書院）				
参考図書等					
評価指標	定期試験で60点以上（100点満点）を合格とする。				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ					